

第3回

『二条院讃岐姫』短歌大会

作品募集

わが袖は そで 潮干に見えぬ しおひ 沖の石の おき いし
ひと し こそ知らね かわ 乾く間もなし ま

平安時代、にじょういん さぬき二条院讃岐姫が詠んだ歌で小倉百人一首の中の一首です。

古来、若狭は大陸交易の中心地として栄え、また朝廷の食材をつかさどる御食国みけつくにとしても重宝され、貴族や寺院の荘園も数多くありました。

父、源頼政が平家との戦いに敗れ、讃岐姫もゆかりのある当地へ流されたと伝えられ、現在棚田の一角に居館跡を示す碑があります。沖の石を眼下に見下ろす美しい棚田は私達の誇りであり、八百年前の歌姫が遺してくれた読み地として後世に継承し、短歌人の創作と交流の場が広がることを願い、短歌を募集いたします。

■作品募集締切

平成30年 1月31日(水) **必着**

*作品募集要項については裏面をご覧ください。

■記念講演・授賞式 日程

期日：平成30年 5月20日(日)

会場：小浜市田烏 永源寺

【一般の部】

恋または自由題で
ご応募ください。

棚田キャンドル

2,500個の灯りがともる幻想的な世界

春は、棚田の田植えが一斉に始まり、ゴールデンウィークを過ぎると早苗が春風に揺られています。

水面には2,500本のろうそくの灯が映え、漁火や家々の明かりとの饗宴に幻想的な世界が広がります。

棚田を活かした
一大イベントを開催

★開催時期：5月19日(土) (予定)

★開催場所：田烏地区棚田



主催：二条院讃岐姫短歌大会実行委員会(内外海まちづくり協議会)

後援：小浜市、小浜市教育委員会、福井新聞社、福井県短歌人連盟

協力：小浜市歌人協会